

**桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に関する地域住民説明会  
(黒保根学園校区) の概要について**

○日 時 令和5年9月7日(木) 午後3時～午後3時42分

○場 所 黒保根町山村開発センター 研修集会室

○参加者 【地域住民】 2名 【報道機関】 なし

○質疑応答

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
地域住民	<p>お話の中で、児童生徒数がどんどん減っていくということを考えると、付け焼き刃で何回も学校統合を繰り返すのではなくて、30分以内の通学ということも踏まえ、小学校では1学年2学級とかそういったことを言うのではなくて、もう少し学級数を増やすような統合を進めて、思い切って学校数を減らしても良いのではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>今回検討した結果、一度統合しました、その後5年後、10年後に再び検討するということになりますと、保護者や地域の皆様に大変な負担になるものと思います。資料にもありますとおり、令和29年度までの児童生徒数の推移もご覧いただきながら、子供たちのために、将来像を考えて、中学校区ごとに、学校の適正配置をどのように考えるかという方向性を協議していただきたいと考えております。</p> <p>ですから、小学校では2学級、中学校では3学級になってしまえば良いということではなく、この先も児童生徒数が減っていくという状況を見ながら、どのように対応していくことが望ましいのか、例えば、2段階で学校を統合するということもあり得ますし、現状で一定の規模であっても、将来の児童生徒数の減少を見越して、30分以内の通学時間を考慮しつつ、スクールバスを導入し、地域を広げて、学校規模をある程度大きくするということもあり得るかと思えます。</p> <p>検討委員会において、多角的に検討していただきながら、数年経って再び検討を開始しなければならないということにならないよう、また、教育委員会としても、円滑に協議や検討をしていただけるように努めてまいりたいと考えております。</p>
地域住民	<p>適正規模と少しずれてしまうかなと思いますが、今、下の子が2年生で、1年生になるタイミングで黒保根学園に入学しました。今年2年目になりますが、黒保根学園を知っている桐生市民が少ないのかなと感じていまして、「黒保根学園はどうですか」と聞かれば、「こういう良いところがあるよ」と私から伝えることはあるわけですが、もう少し黒保根学園というものがあるんですよということを色々な方に分かってもらって、学校に入学してみようかなとか転校してみようかなという方がもう少し増えてもらおうと、子供たちもお友達が増えたりして、もっと活発に活動ができるのかなというふうには日々感じています。</p> <p>黒保根学園に興味がある方から言われることは、登下校のスクールバス</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>の問題とか、今の時代だと夫婦ともに働いていて、学校行く前に乗降場所まで送ってあげて学校が終わる時間に迎えに行くことは、少し難しい部分も出てくると思うので、その辺のフォローがあると、黒保根学園に通いたいという子がもう少し増えるのかなというふうには感じています。</p>
<p>事務局 (教育支援室長)</p>	<p>今、お話を伺いまして、桐生市初の義務教育学校である黒保根学園の良さを市民の方にアピールすることの大切さを改めて実感しているところでございます。このことにつきましては、校長とも話し合いながら、どういったアピールの仕方があるか検討したいと思っております。教育委員会の方にも、黒保根学園の見学について、一定数の申込みもありますので、そういった機会も通して、良さをアピールすることもできるかと思います。ご意見ありがとうございました。</p>